

医師の労働実態調査 集計結果

九州大学教職員組合医系支部

調査期間 2007年8月27日～9月14日
 調査方法 アンケート
 配布枚数 約600枚 回収数103枚(回収率17.2%)

1. 属性

年齢

年齢	回答数
20代	17
30代	51
40代	33
50代	2
合計	103

性別

性別	回答数
男性	84
女性	19
合計	103

世帯状況

婚・未婚	回答数
未婚	32
既婚	65
回答無し	6
合計	103

都道府県(福岡)

-1 九大病院での 雇用形態

雇用形態	回答数
常勤	65
非常勤	26
研修医	12
合計	103

-2 他の病院での 雇用形態

雇用形態	回答数
常勤	1
非常勤	51
研修医	0
回答無し	51
合計	103

半数が他の病院で働いています。

賃金

賃金	回答数
月給制	82
年俸制	0
日給制	18
時間給	1
回答無し	2
合計	103

-1 前月の 受け持ちの外来患者数

患者数	回答数
0人	14
1～10人	7
11～50人	25
51～100人	28
100人以上	14
回答無し	15
合計	103

-2 前月の 受け持ちの入院患者数

患者数	回答数
0人	13
1～10人	48
11～20人	20
21人以上	10
回答無し	12
合計	103

主たる診療科 (22診療科から回答が寄せられました)

診療科	回答数
外科系	42
内科系	58
回答無し	3
合計	103

2. 勤務実態

2. 夜間・休日の 勤務体制

勤務体制	回答数
交代制勤務	2
宿直・日直	81
待機・拘束	6
その他	6
回答無し	8
合計	103

待機と宿日直併用:
17名

(1) 交代制勤務: 2名

夜間休日のその他の勤務

休日は毎日出勤、当直月2回
基本的には術後の管理は担当医が行うので、休日も待機もしくは業務を行っている
(夜間休日の勤務体制)なし
毎日オンコール
宿直自体がない
待機・拘束は毎日です。遅くまで職場にいるので呼び出しは少ない。
待機・拘束の回数は決まっていない
当直は副直として。その他、外勤で日直1回/月、日当直1回/月
休日はほとんどなかった
夜間救急の体制なし

(2) 8月の宿直回数

宿直回数	回答数
0回	5
1回	22
2回	19
3回	15
4回	9
5回以上	9
回答無し	24
合計	103

(2) 8月の日直回数

日直回数	回答数
0回	10
1回	34
2回	8
3回	0
4回	0
5回以上	6
回答無し	45
合計	103

(3) 8月の待機・拘束の回数

回数	待機・拘束の回数	呼び出し回数
0回	3	6
1~5回	12	23
6~10回	6	1
11~15回	3	
20回以上	2	
合計	26	30

「いつも病棟にいるので、呼び出しは少ない」というご意見もありました。

宿直明け後の勤務の有無

	回答数
あり	92
なし	3
回答無し	8
合計	103

宿直明けは、ほとんどの人がそのまま勤務しています。

(1) 1日の労働時間分布

時間数	回答数
8時間	2
9時間	4
10時間	11
11時間	3
12時間	18
13時間、13.5時間	15
14時間、14.5時間	24
15時間	14
16時間	5
17時間	2
18時間、18.5時間	2
回答無し	3
合計	103

(2) 最長勤務時間

時間数	回答数
10時間以下	2
11~20時間	16
21~30時間	9
31~40時間	48
40時間以上	15
回答無し	13
合計	103

(3) これまでの最長連続勤務日数

日数	回答数
5日以下	46
6~10日	10
11~20日	13
21~30日	1
31~40日	2
40日以上	9
回答無し	22
合計	103

連続勤務日数については、「帰宅しないまま勤務した日数」と理解されたような回答が多く見られました。説明が悪くてすみません。

労働時間平均

1日の1人当たり労働時間平均	12.9時間
1週の1人当たり労働時間平均	64.0時間

1週間の時間外労働は24時間であり、1ヶ月(4週)に換算すると96時間になります。

2. (1)1日の時間外労働

時間数	回答数
0時間	0
1時間未満	1
1時間以上～2時間未満	3
2時間以上～3時間未満	6
3時間以上～4時間未満	15
4時間以上～5時間未満	31
5時間以上～6時間未満	21
6時間以上～7時間未満	10
7時間以上～8時間未満	9
8時間以上	2
回答無し	5
合計	103

(2)8月の総時間外労働分布

時間数	回答数
20時間未満	1
20～45時間未満	13
45～60時間未満	6
60～80時間未満	10
80～100時間未満	16
100～150時間未満	20
150～200時間未満	15
200時間以上	3
回答無し	19
合計	103

「80時間未満」は30名(29%)
「80時間以上」が54名(52%)

52%が過労死ラインを越えています!

この時間は、22:00以降の時間を
書いた人もいます。
の1日の労働時間から算出される
時間と比較して、少ない時間数
となっています。

医師は平均的に過労死ライン
で働いている、といえます。
職場の安全はどこに?

(1)1日の時間外労働の平均	4.3時間
(2)8月(1ヶ月)の時間外労働の平均	78.4時間

(3)時間外手当の
請求をしていますか

請求する	19
ときどきする	37
請求しない	46
回答無し	1
合計	103

教員は裁量労働制のため、
時間外手当を請求できません。

2. 休憩時間は取れますか

	回答数
取れる	8
あまり取れない	62
まったく取れない	32
回答無し	1
合計	103

休憩時間と疲労は
強く関連します。

回答者の45%が
昨年の有給休暇「0日」と
回答。常勤者も44%が
「0日」と回答しています。

2. 8月の休暇

日数	回答数
0日	30
1日	6
1.5日	1
2日	10
3日	9
4日	13
5日	7
6日	9
7日	3
8日	11
9日	1
10日	0
回答無し	3
合計	103

この「休暇」の回答は、
土日も含まれている
可能性があります。

2. 休暇の取得

(1)8月の休暇の平均	3.1日
-------------	------

昨年の有給休暇

日数	回答
0日	46
1～5日	22
6～10日	14
11～15日	3
回答無し	18
合計	103
平均	2.2日

3. 健康・疲労について

3. 健康について

	回答数
健康である	40
健康に不安	55
大変不安	4
病気がちで健康とは言えない	2
回答無し	2
合計	103

健康不安をかかえる人は60%にもなります。これらの医師によって九大病院の医療は支えられています。

3. 疲れの回復状態

	回答数
疲れを感じない	3
翌日までには回復する	22
翌日まで疲れが残る	44
休日でも回復せずいつも疲れている	32
回答無し	2
合計	103

「疲れを感じない」「翌日までには回復する」はあわせて25%にすぎず、73%は慢性的な疲労です。

「安全配慮義務」は病院、大学の大きな責任であるはずで

4. 職場を辞めたいですか

4. 職場をやめたいと思いましたが

項目	回答数
いつもあった	12
しばしばあった	32
時々あった	27
まれにあった	17
なかった	12
回答無し	3
合計	103

「いつも」または「しばしば」と回答した人が42%もありました。これに「時々」を入れると68%にのびります。

大学は「賃金、労働条件の改善」を、差し迫った課題として取り組むべきです。

5. 医師不足と対策

5. 医師不足を感じますか

項目	回答数
はい	83
いいえ	15
回答無し	5
合計	103

5. 医師確保対策(複数回答可)

項目	回答数
賃金や労働条件の改善	93
医療事故防止対策の充実	29
医師住宅、保育所など福利厚生	36
女性医師への配慮	38
学会、研究会への参加・出張の保障	38
診療科の体制充実	39
看護師・コメディカルを充実して医療体制のレベルアップ	47
研修医の受け入れの改善	25
医局運営の改善	23
国や自治体、大学の対応の改善	50
その他	3

対策についての自由意見

医師が少ない科の保険点数と給与を見直すべき
 「賃金労働条件」でなく「労働条件」の改善が必要。女性医師への「配慮」ではなく、工夫とすべき。男(夫)の問題でもある。この言葉自体に偏見がある。
 事務が世間の病院並みに機能すること。
 コメディカルの充実について、人数ではなく質の問題
 医療保険制度の見直し

組合に加入して医師の労働条件を改善しましょう！

深刻な医師不足を解決するために、労働組合は増員署名運動に取り組んでいます。医師の待遇改善を要求することは安全・安心の医療を作るうえで大切なことだと考えています。

組合費は1人1ヶ月2000円(最初の1年間)です。ご相談は下記のところへどうぞ。

九州大学教職員組合医系支部

Tel 642-6894 Fax 632-4146

e-mail ikeisibu@yahoo.co.jp